

公益財団法人アフィニス文化財団 2018年度(平成30年度)事業計画

2018年度においては、下記事業計画に基づき、事業全般に亘る効率的運営を図る。

1. 意欲的な音楽活動に対する助成 42,552 千円

2018年度において国内プロ・オーケストラが行う意欲的な公演に対して、次のとおり助成を実施する。

【アフィニス エンブレム】 (9企画 28,000 千円)
「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」

【アフィニス エチケット】 (19企画 9,500 千円)
「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」

なお、2019年度オーケストラ助成に向けて、所要の募集・選考を行う。
2. 音楽家の研鑽に対する助成
 - (1) 「アフィニス夏の音楽祭2018山形」(第30回音楽祭)開催 39,594 千円

国内プロ・オーケストラ楽団員を対象として、山形においてセミナー型音楽祭を開催する。山形における最終回の音楽祭に相応しい、開催地の達成感を考慮した企画内容とし、地域における音楽文化の定着を図る。

なお、2019年(第31回音楽祭)以降の開催地等に関する具体的な検討および調整を進め、開催に向けた所要の準備を進める。
 - (2) 「アフィニス・アンサンブル・セレクション」(AES) 4,446 千円

国内プロ・オーケストラ楽団員が行う室内楽演奏活動を支援するため、全国各地での開催を前提として「助成方式によるAES公演」の募集を行い、選考された演奏会に対して助成を実施する。加えて、助成対象となったアンサンブルの中から優れた団体を招聘し、JTアートホールアフィニスにおいて「財団主催方式によるAES(特別演奏会)」を年1回実施する。
 - (3) 2018年度海外研修助成 4,461 千円

国内プロ・オーケストラ楽団員に対する募集を行い、選考された2017年度海外研修員(その所属楽団を含む。)に対して、助成を実施する。

なお、2019年度海外研修員は、2018年度中に所要の募集・選考を行う。
3. 芸術文化に関する調査研究およびオーケストラに対する楽器購入助成(休止)